



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

私がコープリ・老健あかねで究めたいこと

倉敷中央病院 救急科 部長 田村暢一郎

【はじめに】

先日は倉敷医療生活協同組合の学術運動交流集会に参加させていただきありがとうございます。なぜ倉中の医師が参加したの？と疑問だったと思います。この機会をお借りし、私がコープリハ・老健あかねで研修している経緯をお伝えしたいと思います。



倉敷医療生活協同組合主催の「学術運動交流集会」にコープリハから参加した筆者（左）と発表された同院看護師の小池さん（右）（本年9月）。

【医師としての世界観】

私は外科、ICU・救急科の専門医として外傷患者さんや手術後集中治療が必要な患者さんの治療を行っています。このような患者さんは長期間のリハビリが必要で回り病棟などに転院される方がほとんどです。数年前まで私は「救命し転院されるまでが自分の仕事」と思っていました。しかし、

たことに気付いたのです。それは「目の前の患者さんは1年後、元の生活が送れているのか？」です。これが医師としての世界観を広げる大きなきっかけでした。

【コープリハの主旨】

まず転院後の患者さんを知らなければと思い、倉中の多職種で転院後の患者さんを訪問しました。そこで急性期は患者さんが自宅に帰るまでの

	1年後の身体的QOLを低下させる因子	1年後の精神的QOLを低下させる因子
年齢	影響なし	影響なし
性別	影響なし	影響なし
救命手術の有無	影響なし	影響なし
ISS（外傷の重症度点数）	影響なし	影響なし
けがの部位	下肢のケガ	影響なし
せん妄の有無	せん妄が起これば有意に低下する	せん妄が起これば有意に低下する
婚姻状況	影響なし	結婚していると有意に低下する
生活状況	誰かと同居していれば有意に低下する	誰かと同居していれば有意に低下する

Health-related quality of life in trauma patients at 12 months after injury: prospective cohort study. N.Tamura et al. Eur J Trauma Emerg Surg. 2019 Dec;45(6):1107-1113.

救命し退院後のQOL（満足度）はケガの重さに関係なく、独居だから低下するわけでもありませんでした。ただし、せん妄を合併すると低下します。これをどれだけ改善させるかは急性期後のリハビリ病棟でも重要課題です。

プロセスの一部で、しかなないことに気が付いたのです。コープリハはその訪問先の一つでした。鍛本院長の「リハビリのた

めのリハビリでなく、生活に戻すためのリハビリ」のお話を聞き感銘をうけ2018年に2ヶ月の研修を受けました。その後タイ王国外傷センターでの半年間の留学研修をはじめ、現在も毎週水曜日にコープリハ研修を行っています。

【QOLについて】

QOLとは患者さんが退院後「生きててよかった」と思っているかの指標です。私は生活を科学することに興味を抱き「計量心理学をベースにしたQOL」のスコア化を学びました。患者さんが質問票に回答すればQOLが点数化できます。これを用いて倉中に入院した外傷



かつて訪問したタイ王国外傷センターを中心に各国医療スタッフとの国際的カンファレンス。そこで「QOL」を紹介する筆者（上段中央）（本年10月）。



老健あかね短期集中リハビリテーションのあと自宅復帰予定の利用者さんのお家で「また筆をとりましょう」と後ろの作品を話題に励ます筆者。



9月24日土曜に当院隣りで「くらしき環境フェスティバル」が開催されました。テーマは「ゼロカーボンとSDGs」だそうです。



会場となった水島愛あいサロン芝生広場。うしろがコープリハビリテーション病院・老健あかねです。

患者さんのQOLは急性期治療ではなく「退院後の社会

【今後の抱負】
今、私はコープリハ・老健あかねで患者さん・利用者さんの生活をテーマにした研究やその臨床介入を少しずつ進めています。「けがや病気のあと、その人らしい生活を取り戻せる」これはリハビリテーションの語源です。そこに言語化や科学を付け加えたい。これがコープリハ・老健あかねで研修している理由です。

中学生の進路判断の一助に 倉敷市キャリア教育推進事業へ参加 〜第2報〜



半身が不自由な状態で車椅子を動かす体験
(玉島西中学校)



AEDを使用した救命救急を教える筆者(玉島西中学校)

倉敷市はコロナ禍でも可能な職業体験として、地元企業が現場から学校へ行く職業体験「倉敷キャリア教育推進事業」をスタートしました。

今年度は7月7日に琴浦中学校、7月12日児島中学校、10月4日に玉島西中学校と合計3校に向きました。病院と老健の紹介の後に注

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。

射器・AED・食事介助・車椅子などの体験講座を企画しました。我々には何気ない事でも中学生にとってはいずれも初体験で驚きと楽しさで一杯だったようです。この体験が進路に悩む生徒への手助けになれば幸いです。(コープリハビリテーション病院・老健あかね)

看護 師 水畑拓馬
介護福祉士 玉口麻美
理学療法士 佐藤雅昭

充実した在宅生活を過ごすためのリハビリ 〜第33回全国介護老人保健施設大会へ参加〜

兵庫県で開催された全国大会へ参加しました。まだまだコロナが収束しない中、様々な感染症対策をしながら3年ぶりの開催となりました。今回、私はリハビリテーション

口演発表 / リハビリテーション 11	
[座長] 藤原 明子 (老人保健施設老健あかね) 2022/09/23 10:00~10:50 第9会場 神戸市立中央図書館 15F101	
[23-L011-01] [筆頭著者] 高山 久実 (群馬県 介護老人保健施設アルボース 作業療法士)	生活期における合目的電気刺激療法の有用性 ~麻痺側上肢の機能改善と使用頻度向上を認めた事例~
[23-L011-02] [筆頭著者] 前田 理紗 (大阪府 松下介護老人保健施設はとびあ 理学療法士)	自分で踏み出す!「元気塾」!
[23-L011-03] [筆頭著者] 矢部 千磨 (静岡県 介護老人保健施設工スコートタウン静岡 理学療法士)	自宅での入浴を目指して
[23-L011-04] [筆頭著者] 大里 一貴 (茨城県 介護老人保健施設秋園 理学療法士)	アンケート調査から見た家族介護負担とリハビリ介入
[23-L011-05] [筆頭著者] 今西 良作 (京都府 介護老人保健施設石清水 理学療法士)	二重課題トレーニングが運動機能に与える影響について 個別リハビリテーション利用者の1名

座長を担当したリハビリテーション部門の演題

新入職員紹介



老健あかね 介護福祉士
内田 亜由美



〇お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00~16:30
土曜日 9:00~12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: http://coopreha.jp/
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

診療表		コープリハビリテーション病院		老健あかね	
外来受付時間 8:30~12:00 [086-444-3212]		[086-446-6541]			
外来	装具外来	歯科	短時間通所リハビリ	短期集中健康アップ教室	訪問リハビリ
午前 9:00~12:30	14:30~15:00	午後	9:00~16:50	9:30~11:00	9:00~16:00
月			○	○	○
火	渡辺 (予約制)	西表 (予約制)	○	○	○
水	飯塚		○	○	○
木	太田	西表 (予約制)	○	○	○
金	香口		○	○	○
土				○	○

医療福祉相談・連携室	
相談受付時間	平日 9:00~12:00 13:30~16:30 土曜日 9:00~12:00 日・祝日 休み

セッション部門に関する演題発表のセッションの座長を担当しました。他事業所の取り組みを知る良い機会となりました。どの発表も介護分野における限られたリハ提供時間と回数の中で、如何に利用者さんの機能回復と生活を支えるかという研究が多い印象でした。我々も老健あかねにて在宅生活を自分らしく過ごすために何が必要なのか、本人・家族の希望を施設スタッフ全員で共有し、日々の介入に活かしています。限られたリハビリ提供時間を有効に活用し、機能回復はもちろん充実した自宅生活が過ごせるように努めていきます。



座長として会場とWEB参加者と演者をつなぐ筆者(奥中央)。

(老健あかね 理学療法士 藤原明子)

無料低額診療事業・無料低額介護老人保健施設利用事業を行っています。